

部活動の「**地域移行**」とは、公立中学校等（義務教育学校後期課程を含む）においてこれまで学校が部活動で担ってきた休日の生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を地域が運営主体となる地域クラブ活動に移行することです。部活動改革は「**地域移行型**」を基本としますが、「**拠点校（合同部活動）型**」、「**地域連携型**」を含めると、大きく三つの形態があります。

なお、休日の活動が地域クラブ活動に移行した場合でも、平日は基本的に学校で部活動を行います。

1 地域移行型



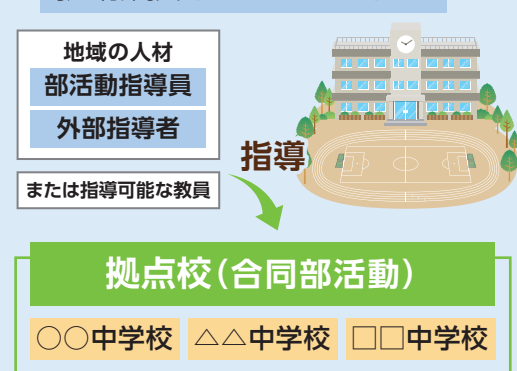
地域クラブ活動に移行すると・・・●メリット ▲デメリット あれこれ

- 地域の指導者から専門的な指導が受けられる。
- 自分の目的に合わせてやりたいスポーツや文化芸術活動を行うことができる。
（平日の部活動と異なる活動や複数の活動に参加することも可能）
- 地域の多様な年代と交流することができる。
- ▲指導者への謝金や会場使用料、保険料等の費用は原則参加者負担となる。
- ▲活動場所が遠くなることもある。（公共交通機関の利用や保護者送迎が必要になる場合もある。） 等

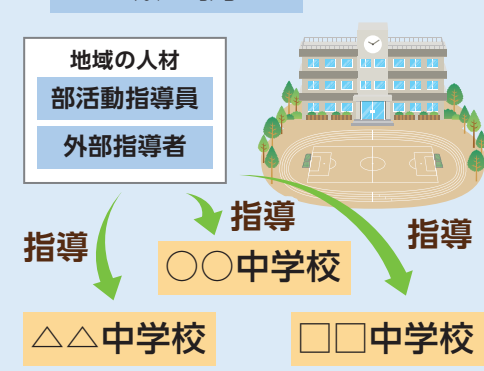


学校や地域の実情により、すぐに地域での活動への移行が困難な場合は、部活動として生徒の活動機会を確保していきます。この場合、学校の教員だけでなく地域の人材に協力をいただきながら活動機会を確保することから「**地域連携**」といます。

2 拠点校（合同部活動）型



3 地域連携型



「**地域連携**」とは
部活動として学校で運営・実施するものです。複数校が合同で活動する「**拠点校（合同部活動）型**」や部活動指導員や外部指導者が指導する「**地域連携型**」の2つです。

部活動の地域連携・地域移行には、一律の形態（在り方）はありません。学校や教育委員会、関係団体が連携し、地域や学校の状況を踏まえ、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に継続的に親しみ、学び、楽しめる環境を作り上げていく取組です。

今後は

国の方針を受けて、県では8月に「**鳥取県公立中学校等における部活動の地域連携・地域移行に向けた推進計画**」を策定しました。今後は、県の推進計画をもとに、各市町が取組を進めていきます。

県の推進計画等は
こちら→

